

# 神戸いのちの電話

社会福祉法人 神戸いのちの電話



「なかま」

画：木原 真人<sup>きほら まさと</sup>

神戸いのちの電話 相談電話 Tel 078-371-4343

フリーダイヤル自殺予防いのちの電話 Tel 0120-783-556

ホームページ <https://kobe-lifeline.org>



▲  
QRコードよりご覧ください

## いのちの電話～コロナ禍後を見据えて

一般社団法人日本いのちの電話連盟 理事長

ほりい しげお  
堀井 茂男



新型コロナウイルス（Covid-19）感染症は、2020年1月15日に我が国で初めて感染が確認された後、緊急事態宣言など国を挙げての対応策に私たちいのちの電話も大きな影響を受けました。かなりの電話相談センターが、電話相談室の一時的閉鎖を余儀なくされ、相談時間の短縮や深夜時間の休止、研修や養成講座の変更や短縮、3密制限対応による電話台数の減少などの対応に追われました。またボランティアスタッフのコロナ罹患や外出困難により電話担当ができないなど大変な状況でした。2020年は全国50センターで約5,700名が528,105件の相談を受けることができました。コロナ禍前の2018年の683,793件、2019年の636,288件からかなり減少せざるを得ませんでした。ボランティアの皆様が頑張ってくださいました。そして、2021年は534,167件、2022年は547,586件と少しずつ回復しつつあり、各センターの努力の様子が伺われます。

特に、新型コロナウイルス禍で不安、悩み、辛い日々を送っている人たちの相談相手に少しでもなろうと、2020年6月20日より、毎月10日の24時間に加えて、毎日16～21時の5

時間の毎日フリーダイヤルを開始し、神戸センターをはじめ全国のセンターの協力で（2022年は34センターが協力）、2019年のフリーダイヤル受信件数26,625件に比べて、2020年38,554件、2021年54,983件、2022年は53,884件と大幅に増えています。全国のボランティアの皆様の努力の賜物であり、ありがたいことだと思っています。

神戸いのちの電話は、1981年6月20日に電話相談を開始、1995年1月17日の阪神淡路大震災においては、相談員も被災し、活動も一時停止しましたが、早期に活動再開、災害を乗り越えた経験をお持ちです。2002年3月には「社会福祉法人神戸いのちの電話」となり、この度のコロナ禍に際しても毎日フリーダイヤルに早期より参加していただいています。コロナ禍の影響で、相談件数は2019年13,062件から2020年10,231件と減少しましたが、2022年12,459件と回復、今日に至っています。コロナ禍にありながらも、ボランティアの皆様の日々の献身に篤く感謝する次第です。

コロナ禍は第8波が収束しつつあり、この5月8日に季節性インフルエンザと同じ「5類」

に引き下げられ、「平時」の対応となりました。しかし、第9波の予想もされており、予断は許されない状況のようです。2012年以来減少していた自殺（自死者）が2020年のコロナ禍の緊急事態宣言の年から増加に転じ、昨年も女性の3年連続増加、若者の自死の増加傾向が認められ、また、コロナ禍だけではなくロシアのウクライナ侵攻の継続など世界の不安も一人ひとりの孤独・孤立傾向を助長しているようです。これまで以上に、いのちの電話の活動、孤独・孤立している人の声を聴く私たちボランティアが重要な役割を担っていると期待されているように思われます。

ところで、いのちの電話では、従来いのちの電話ボランティア全国研修会を毎年開催してきましたが、コロナ禍のため順延していた三重大会が昨年2022年も中止となりました。が、全国のボランティアの皆様への学びの場、親睦の機会を求める声をお聞きして、三重のテーマであった「気づき、認めあい、つながりあおう」を基に、web を利用した全国研修会を開催しました。その記録集がまもなく刊行されると聞いていますので、見ていただききたいと思います。

そして、2023年10月26～28日、郡山市（メイン会場・ホテルハマツ）で、「いのちの電話ボランティア全国研修会」が福島センターのお世話により、「ラポール・絆を結ぶ～共に考える。ふくしまの光と影～」をテーマとして開催されます。多くの皆様との3年ぶりの現地開催（予定）を楽しみにしています。

私たち、いのちの電話のボランティア活動は、発足以来半世紀を過ぎ、コロナ禍の他、電話以外の通信手段の台頭、相談員の高齢化、その他多くの変化が顕著になって来ています。私たちいのちの電話の各センター、連盟、私たち自身も、この新しい時代に対応していく必要があるように思います。私たちの活動は、この不安定な世界のなかで孤立する、孤独な人たちの一助になる、本当に大切な活動であり、皆様一人ひとりの協力で成り立っている活動です。ボランティアの皆様、関係者のお一人お一人の労をねぎらうとともに、心よりお礼を申し上げます。皆さまの益々のご健勝を祈念し、これからも引き続き、孤独な人たちへの心の援助をよろしくお願いいたします。



## 一条の光

まきむら えり こ  
ピアニスト・パフォーマンスアーティスト 牧村英里子

第二次世界大戦中、私の祖父は酸鼻を極めたフィリピンで軍医として負傷兵の収容と手当てにあっていた。本人も右脚に銃弾を受け、餓死一歩手前の状態で深山をさまよいつけるうちに、山中に住むイゴロット族に捕らえられて私刑を宣告されてしまう。私刑執行人らしい男性が祖父を医師であると判断し、英語での問答が始まった。相手はカトリック教徒で、寺の生まれである祖父は山沢では唯一のタンパク源であるサワガニさえ獲って食べなかった仏教徒である。国や宗教を超越した対話の末、何か響くものがあったのだろう。もはや歩けぬ祖父はイゴロット族の人に背負われ、ジュネーブ条約に則り米軍へ引き渡されて1年後に祖国日本へ帰還した。

幼少よりこの話を聞いて育った私は、衣食住に足る時代・環境に生まれた恵まれた身として、「個」に起こる悲しみや艱難は甘受せねばと、未熟ながらもぼんやり自覚していたように思う。

その無知蒙昧に鉄槌が下されたのが、兵庫県立長田高等学校在学中に起こった阪神淡路大震災である。震災から数日後、瓦解し火が舐めつくしたまちに立ち竦んだ。激しい嗚咽が込み上げ「集団」を一瞬にして破壊した自然災害に恐怖し、狂気の理不尽を呪った。未来への道はどこに消えたのか。

しかし、道は遺された。「個」として立ち上がり「集団」として助け合いながら復興への道を歩みだ

した姿は世界にも報道され、のちに欧州へ音楽留学してツアーに出る先々の国で、その姿への称賛の言葉をいただいた。

だが今度は、2015年のシリア内乱から派生した欧州難民危機で、人災によっていのちと生活が奪われていく世界を目の当たりにするようになる。当時、デンマークとスウェーデンを行き来していた私は、難民でぎゅうぎゅうの列車の中で、戦争という人災が引き起こす悲惨な現象を伝聞ではなく肌身で感じた。何度も難民支援公演を行ったが虚無感は無えず「個」でできることなど何もないと気鬱状態が長く続いた。

ところで、支援公演に、ある映画監督が聴衆として足を運んでいた。終演後、彼は私のところに来て、君のドキュメンタリーを撮りたいと唐突な申し出と共に握手の手を差し伸べた。

5年後にドキュメンタリーは完成し、さらにパンデミックを経て、2023年3月、映画「BEING ERIKO」が地元神戸でようやく上映された。神戸のちの電話が趣旨に賛同して下さり、上映会には協賛というかたちで多大なるご支援を賜った。その後も研修会にお招きいただき多くの学びを得て、私はひとりではないのだと一条の光を与えていただき、目の前に新たな道が浮かび上がった。

この光に照らされた道を新旧の仲間とともに全力で歩んでいきたい。

みつかる。つながる。よくなっていく。

公益財団法人

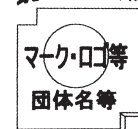
**神戸YMCA**

〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-11  
電話 078-241-7201(代表) FAX 078-241-7479  
<https://www.kobeymca.org>

安全運転・快適な車内空間を  
ご提供いたします!  
夜間・早朝も対応します(事前予約要)  
介護タクシー  
ますらお  
**丈夫かい**  
山本常雄  
予約電話 090-3943-0110

オリジナルせんべいをお作り致します。  
記念品・贈答品等に最適です。お気軽にご相談ください。

夏せんべいオリジナル



神戸名産 死せんべい 虎まんじゅうの元祖  
創り 慶応明治六年  
**亀井堂總本店**  
神戸・元町

TEL (078) 351-0001  
[www.kameido.co.jp](http://www.kameido.co.jp)



## 山口徹前理事長を偲んで

社会福祉法人神戸いのちの電話 理事長 みずの 水野 ゆうじ 雄二

前理事長の山口徹さんが忽然と天に帰っていかれました。2月3日のことであつたと伺いました。と言うのも、ご家庭の事情でご葬儀が終わるまで、その訃報が公にされませんでしたので、私が見つかったのは2月7日のことでした。昨年12月にコロナウイルスに感染され、その後、静養されていましたが、病後の快復が思わしくなく入院中に逝去されたとのこと。その経緯も存じ上げないまま、お見送りすることになりましたので、誠に驚くと共に残念で、今もなお心の整理がつかない私です。

山口徹さんは私にとりましては、神戸YMCA主事としての先輩であり、上司であり、善き師でもありました。入職以来、何かとお世話になりましたが、特に神戸YMCA総主事の前任者として、また神戸いのちの電話理事長の前任者としてご指導いただきました。山口さんが神戸YMCA総主事時代の1992年から2002年はバブル経済の崩壊、阪神淡路大震災、18歳人口急減、「失われた10年」と、組織運営には深刻な苦難の時代で、神戸いのちの電話の運営においても震災後の困難な時期を伴走してこられました。そして、山口さんは神戸いのちの電話が神戸YMCAによって支えられた運営から社会福祉法人としての自立へとリードし、2002年度より社会福祉法人神戸いのちの電話の初代理事長に就任され、以後10年、その責任を果たしてこられました。

山口徹さんのYMCA主事としてのお働き、神戸い

のちの電話理事長としてのお働き、その他、社会における多様なご貢献の根底にあるのは、彼のキリスト教信仰であるのは間違いありませんが、その背後にあるのは、早く亡くなられたお父上への想いではなかったかと想像しています。山口さんは小学生の時代に、まだ30代であつたお父上を事故で失くしておられます。その突然の悲しみ、辛さ、厳しさは想像できないのですが、私は何度も山口さんからお父上のお話を伺う中で、お父上がいつも背後から山口さんを見つめ、支え、後押しされているように感じました。人が生きる悲しさ、辛さへの共感が、山口さんをして、あのように明るく、楽しく、一見破天荒にも見える言動に導いたのではないかと感じています。それが、神戸いのちの電話の理事長としてのお働きを支えたのではないのでしょうか。

今日の神戸いのちの電話の礎は間違いなく山口徹さんのご貢献にありました。それを継ぐ者として、山口さんに改めて敬意と感謝を申し上げ、御霊の平安をお祈りいたします。



山口徹前理事長(右)

# 海の幸

高嶋酒類食品株式会社



高級奈良漬

# 甲南漬

## 思うこと

相談員となっていていつの間にか月日が流れていました。携わって来て思うことを少し述べさせていただきます。

受話器に向かうときは相談者に対する価値観をフラットにし、どんな話でも受け入れて聴けるようでありたいと思っています。そのためには当番に入るときは心身ともに健康で、気持ちに余裕のある状態でなければうまく聴けません。

受話器を取ったときに聞こえてくる、重苦しい遣りきれない気持ちの訴え、抱えた怒りの吐露、ひたすら救いを求める声。一人ひとりがその人なりの問題を抱えて苦しんでいます。そんな一人ひとりに寄り添って聴くことは本当に難しいと思います。

じっと耳を傾け、頷き、共に感じて寄り添い、「話せた！」と感じてもらえたら！ 受話器を取ったときの気持ちが、受話器を置いたときには少しでも軽くなっていてくれたら！ それを私の思いとして続けてきました。

相談者さんからは、「神戸いのちの電話」はよく聴いてくれるという言葉を目にしてきました。これからもそう思っただけのように、皆で研鑽を積んでいかなければならないと、思いを新たにしている今日この頃です。

メンバーの皆様の優しさに支えられつつ、日々成長し人間を磨くためにも努力と精進を重ねていきたいと思っております。(K.Y)

## 言葉は生きもの

言葉は生きものだ。多様化のこの時代は、対話を通じて、何かを聞き耳をかたむけ、共感できる環境が理想と思う。いのちの電話は、「苦しんでいる人々と電話につながりたい」。他にSNS、Twitterなどで、孤独と絶望から救いを求めている。

相談員として様々な相談を受ける中での会話から、キーワードを探す。…ひとりぼっち、さみしい、心の病、つらい、悲しい、ひきこもり、体の病、性に関すること、DV、セクハラ、人間関係、いのちということ、生きること、そして声のトーンにある音色を聴き、気力、感情などを感じる。

相談員である私の対話は傾聴である。

心 今現在

心 受け入れ(ありのままに起きたことを聞く)

心 認める

心 信じる

心 共感(支える)

言葉は生きものであるが故に共感できないこともある。失言もある。相手の言葉によってしんどい思いをすることもある。自分に対する心のケアは大切だ。また、日々の対話を通じて電話から気づかされることも多く、自己の成長にもつながっている。

(N.T)

<p>碍子等電気絶縁物 及び モールド・トランス等の卸売</p> <p>〒658-0044 神戸市東灘区御影塚町3丁目9番18号</p> <p><b>東光碍子株式会社</b></p> <p>取締役社長 濱 浩一</p>	<p>60年の信頼と実績</p> <p>大阪ガスサービスショップくらしプラス <b>株式会社ライフライン</b></p> <p>台所・お風呂(水廻り)のリフォームから 手すり・バリアフリー工事等の介護リフォームまで ライフラインにお任せ下さい! 住まいの快適を環境に適した提案で実現いたします。</p> <p>神戸市東灘区住吉南町3丁目2番23号 ☎0120-26-4919 Tel.078-845-2171</p>	<p><b>ながまつこころのクリニック</b></p> <hr/> <p>〒650-0015 神戸市中央区多聞通り4-1-3 ナカヤマビル5F</p> <p>☎078-335-8207</p>
---	--	--

シャワーじゃないシャワー

サイエンス社正規販売店で購入ください。

まずは、お電話で  
お問合せください。

**06-6584-4771**  
(平日9-17)



小倉サンダイン株式会社  
サイエンス社製品正規販売店



**木村 歯科**

〒651-0087 神戸市中央区御幸通8丁目1-6  
神戸国際会館13F

☎078-251-1823



お陰様で、創業120年。

**淡路屋**



TEL:078-431-1682



## 大和証券福祉財団ボランティア活動助成金

大和証券福祉財団は、誰もがいつでもボランティア活動に参加できるよう環境整備を図ることにより、福祉の向上に資することを目的とし、高齢者、障がい児者、子ども等への支援活動ならびに大規模自然災害による被災者への支援活動に対し、助成金で支援を行っている。

神戸いのちの電話では、2022年度の募集に応募して、2023年1月19日、大和証券神戸支店において行われた贈呈式に出席した。兵庫県下で高齢者支援などを行っているNPO法人などとともに、30万円の助成金をいただき活動報告を行った。



## 牧村英里子さん、ラモーナ・マッジョさんと座談会を実施



2023年3月11日神戸市総合福祉センターにおいて、デンマーク在住のピアニスト牧村英里子さん、ポー・ハーゲン・クラウセン/ラモーナ・マッジョさんとLGBTQについての理解を深めるため神戸いのちの電話相談員との座談会を実施。

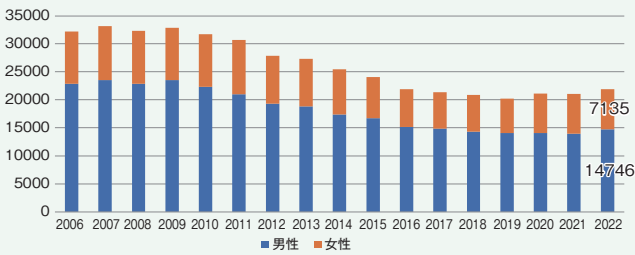
ラモーナ・マッジョさんは、幼少期に自身の性自認と周囲との違和感を持ち、悩みながらも明るくパフォーマー、歌手、人形劇マイスターとして活動を続けている。子どもたちや青少年合唱団と一緒に教会とコラボレーションしながらの活動が評価されて、2020年デンマークのLGBTQ文化賞にノミネートされた。

今日のウクライナ情勢をからめた現在のヨーロッパの社会状況を背景にして、牧村さんとラモーナさんの飾らないトークが繰り広げられ、相談員とともに予定時間を大幅に超えての実りある座談会となった。

 <p>本来の自分を活かした‘今’を作ろう <b>NPO法人日本心理教育ラボ</b></p> <p>私たちは個人・家庭・組織の問題に対しフリーセラピーを用いて良循環の活性化や悪循環への介入を行い解決を構築していきます。</p> <p>個人様・企業様のご相談について お気軽にメールください。</p> <p>〒663-8152兵庫県西宮市甲子園町3-16 甲子園アーバンライフ303 Mail : info@koko-lab.info</p> 	 <p><b>甲南女子大学</b> KONAN WOMEN'S UNIVERSITY</p> <p>〒658-0001 神戸市東灘区森北町6-2-23 TEL 078-413-3130 <a href="https://www.konan-wu.ac.jp">https://www.konan-wu.ac.jp</a></p>	<p>キリスト教精神に基づき、誠心・誠意、ご奉仕します。 介護保険の申請代行、ケア・プランの作成、成年後見など 福祉でお困りのこと、まずお電話下さい。</p> <p><b>ベテルおおた介護保険事務所</b> <b>ベテルおおた社会福祉士事務所</b></p> <p>社会福祉士・主任ケアマネージャー 大田 厚三郎 (日本基督教団神戸栄光教会会員・元西宮市役所職員)</p> <hr/> <p>〒655-0895 神戸市垂水区坂上1丁目2-19-103 携帯 090-9112-6357 FAX 078-755-5261</p>
 <p><b>村田建設 株式会社</b></p> <p>〒653-0825 神戸市長田区池田新町11-17 TEL (078) 641-0231 <a href="https://www.murata-kk.com/">https://www.murata-kk.com/</a></p>	<p><b>福島神経科クリニック</b></p> <p>精神科・心療内科・精神科デイケア</p> <hr/> <p>〒651-0097 神戸市中央区布引町1-1-25 TEL/FAX 078-242-7226</p>	<p><b>表紙画の作者紹介</b></p> <p>木原 真人(きはら まさと)</p> <p>社会福祉法人神戸聖隷福祉事業団 神戸聖生園在籍</p> <p>絵をかくのが大好き。 「なかま」という題で、「心躍るような仲間との楽しい毎日」をイメージして描きました。</p>

# 「神戸いのちの電話」統計報告

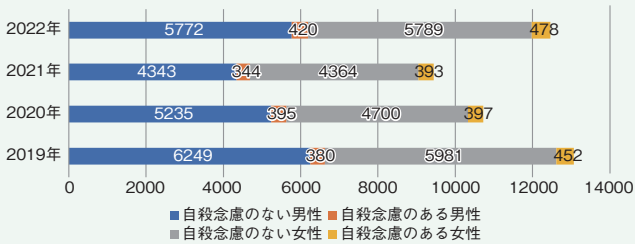
## ① 全国の自殺者数の推移



## ● 全国の自殺者数の推移(図①)

厚生労働省によると、2022年度の自殺者数は21,881人で、前年に比べ874人(4.2%)増。さらに詳細をみると男女別では、男性は13年ぶりの増加(2021年13,939人)、女性は3年連続の増加(2019年6,091人、2020年7,026人、2021年7,068人)となっている。20代、30代及び70代以外の各年齢階級で増加しており、50代が最も大きく増加し、20歳代が最も大きく減少している。

## ② 神戸いのちの電話相談件数

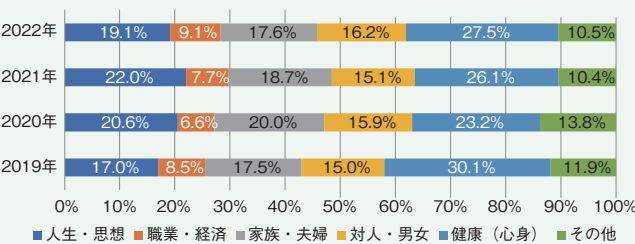


## ● 神戸いのちの電話相談件数(図②)

相談体制の復旧に伴い、相談件数は2022年12,459件と前年の9,444件に比べて大きく増加し、コロナ禍以前の状況にほぼもどったと言える。コロナ禍前には男性からの電話が多い傾向にあったが、男女の比率はほぼ同数で推移している。

\*自殺念慮ありとは、自殺決行中、自殺予告、死にたいあるいは死ぬしかないといった訴えがあったものをいう。

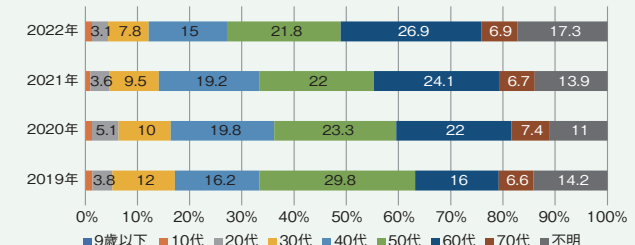
## ③ 相談内容の割合



## ● 相談内容の割合(図③)

相談種別による割合を見ると、コロナ禍で「人生・思想」が増え、「健康(心身)」が若干減少したが、2022年にはコロナ禍前の状況に戻りつつあるように見える。

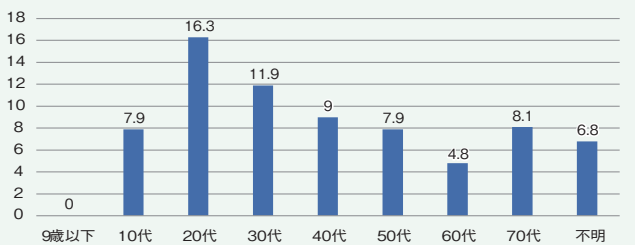
## ④ 女性からの電話件数(年代別割合)



## ● 女性からの電話件数(年代別割合)(図④)

女性の電話を、年代別の割合で見ると、40代、50代、60代からの電話が多いことが分かる。コロナ禍直前の2019年からの4年間を見ると、30代、50代では減少、60代では増加の傾向が続いている。

## ⑤ 2022年年代別自殺念慮の割合(女性)



## ● 2022年年代別自殺念慮の割合(女性)(図⑤)

コロナ禍で、若い女性の自死が増えたと報道された。神戸いのちの電話の相談件数をみると、20代以下の割合は4~5%と少ない傾向は変わらない。しかし女性からの電話の自殺念慮のある電話の割合を年代ごとにみると、グラフのように20代では16.3%、30代は11.9%と高い割合であった。若い人の電話離れが話題になるが、実数としては多くはないものの電話で話すことの大切さを思わせる結果と考える。

(統計小委員会)

**編集後記** 編集会議で「現場にいる相談員は、社会の課題を真っ先に感じるのではないのか？」という意見があった。だが、DV・ハラスメント・ヤングケアラー・LGBTQ+α等々、言葉を知っていても、新たな学びがないと奥行きが見えない。相談者の訴えにある課題に気が付かないまま、浅い対応になる。研修を続ける意味はここにもある。(A.M)

広報誌 神戸いのちの電話  
 発行日 2023年6月  
 発行 社会福祉法人 神戸いのちの電話  
 発行人 理事長 水野 雄二  
 編集 神戸いのちの電話広報委員会  
 〒650-8691 神戸支店郵便私書箱1103号  
 Tel 078-371-4405 Fax 078-371-4355  
 E-mail kind4343@viola.ocn.ne.jp  
 ホームページ <https://kobe-lifeline.org>